

# なぜ不祥事防止対策が失敗するのか

## ～数値偽装事件を防止するための提言～

日時

2024年4月17日(水) 13:00～14:30 (受付開始 12:30)

※ オンラインでの同時配信を実施します。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会員 3,300 円 / 一般 6,600 円 (税込・事前オンライン決済)

※ 会場・オンライン共通価格です。会場のお食事は付きませんのでご注意ください。

「品質管理の優等生」と言われるトヨタグループにおいて、日野自動車に続き、ダイハツ、豊田自動織機でも数値偽装事件が発覚したことは、日本経済界に大きな衝撃を与えました。もはや一部の企業だけの問題ではなく、全ての日本企業がこのリスクに直面しているという意識を持たなくてはなりません。さらに言えば、この不祥事が浮上してから既に10年が経過し、2017年には経団連が企業トップによる対処を要請しているにもかかわらず、依然として数値偽装事件が相次いでいることも重大な問題です。これまで実施してきた不祥事防止対策が果たして機能しているのか、改めて見直しを行う必要があります。

そこで今回は、不祥事研究の第一人者である警察大学校の樋口晴彦博士をお招きして「なぜ不祥事防止対策が失敗するのか」と題する勉強会を開催することとなりました。数値偽装を始めとする各種不祥事の続発を憂う皆様、自社における不祥事対策やそれを指導するガバナンスの有効性について再検討する必要があるとお考えの皆様は、是非ご参加ください。

プログラム

- 13:00～13:40 樋口博士講義(数値偽装事件の原因構造、経営管理の敗北、機能しない不祥事対策、再発防止対策の基本、経営管理の課題、ガバナンスの現実等)
- 13:40～14:10 樋口博士と当研究会の大谷代表理事・門多創立理事によるディスカッション
- 14:10～14:30 質疑応答

講師

樋口 晴彦 (ひぐち はるひこ) 氏

警察庁人事総合研究官兼警察大学校付 / 危機管理システム研究学会理事

1961年広島県生まれ。1984年に東京大学経済学部卒業後、警察庁へ。愛知県警察本部警備部長、四国管区警察局首席監察官のほか、外務省情報調査局、内閣官房内閣安全保障室に出向。オウム真理教事件、ペルー大使公邸人質事件、東海大水害対策などの危機管理に従事。1994年にフルブライト奨学生としてダートマス大学ビジネススクールでMBA、2012年に千葉商科大学大学院政策研究科で博士(政策研究)を取得。警察大学校警察政策研究センター主任教授を長年務めた後、現在は警察庁人事総合研究官兼警察大学校付。企業不祥事の分析を通じて組織が失敗する原因メカニズムを研究。危機管理システム研究学会理事。著書に『組織の失敗学』中央労働災害防止協会(中災防新書)2012、『組織不祥事研究 組織不祥事を引き起こす潜在的な原因の解明』白桃書房 2012、『なぜ、企業は不祥事を繰り返すのか 有名事件13の原因メカニズムに迫る』日刊工業新聞社 2015、『続・なぜ、企業は不祥事を繰り返すのか 重大事件から学ぶ失敗の教訓』日刊工業新聞社 2017、東芝不正会計事件の研究 不正を正当化する心理と組織』白桃書房 2017 など多数。



### 今後の勉強会予定

- 第152回 5月21日(火)13時 【題目】 変わりゆく資本主義社会と上場企業のあり方  
【講師】 清水大吾氏(みずほ証券株式会社 投資銀行部門 サステナビリティ・エバンジェリスト)
- 第153回 6月27日(木)15時 【題目】 監査役の矜持 ～曲突徙薪に恩沢なく～  
【講師】 岡田譲治氏(一般社団法人日本公認不正検査士協会 理事長)
- 第154回 7月29日(月)15時 【題目】 不祥事の調査委員会と再発防止策(仮題)  
【講師】 山口利昭氏(山口利昭弁護士事務所 代表)

